

北大病院心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院保健科学研究所心血管エコー研究室では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られた過去の診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号・平成 29 年 2 月 28 日改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関して、研究の対象となることを望まれない場合やご不明の点がございましたら、下記「連絡先」へご連絡ください。

[研究課題名] 心エコー法による右室収縮機能指標計測における適切な断面設定に関する研究

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院長 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 岩野 弘幸（北海道大学大学院医学研究所循環病態内科学分野 助教）

[研究の目的]

本研究の目的は、右室収縮機能指標計測における RV modified apical 4-chamber view の有用性を三次元心エコー法により求めた右室駆出率との比較に基づき検討することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2017 年 10 月から 2018 年 9 月までの間に、北海道大学病院を受診し、右室の容量計測を含む心エコー検査が行われた各種心疾患患者さん（目標 200 例）。

●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、年齢、性別、診断名、病歴、身体所見、検査所見、臨床経過および治療内容などを調べさせていただきます。
2. 心エコー検査記録から、左室内径、左室駆出率、左室壁厚、左室心筋重量、左室拡張機能、左房径、左房容積係数、右室径、右室駆出率ならびに① RV modified apical 4-chamber view、② RV focused apical 4-chamber view、③ Apical 4-chamber view のそれぞれの断面で計測された FAC、TAPSE、RV-s' を調べさせていただきます。

[研究実施期間] 実施許可日～2021 年 3 月 31 日

[個人情報の取り扱い]

本研究の実施にあたり、研究に利用する患者さんの情報に関しては、研究担当者が北海道大学病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後、お名前、ご住所をはじめ、患者さんを特定できる情報を一切削除した上で管理した上で、研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北 12 条西 5 丁目

北海道大学大学院 保健科学研究所 准教授 加賀 早苗（研究分担者）

電話：011-706-3405, FAX：011-706-3730